まちの話題

ありがとうの心を伝える はがきを小学生に贈呈

感謝の心を伝えたい相手に手紙を出そうと、土佐山田ライオンズクラブ（岡林幸男会長）が市内の８小学校（５１４人）にかもめーるはがきを贈呈しました。

７月14日、文部科学省の「伝え合う心の研究」の指定校になっている片地小学校（高橋司校長）では、４年生が代表で４～６年生60人分のはがきを受け取りました。先生の「渡す相手を決めている人はいるかな?」の問いかけに笑顔で元気な手があがりました。高橋校長は「元気にあいさつ、言葉を通じて心を伝え合う運動の実践に活用します」と喜んでいました。

▲ありがとうを伝える相手は誰かな!?

大宮小５年生 田植えを体験！

６月11日、大宮小学校の５年生が田植えに挑戦しました。毎年、小学校とＪＡ土佐香美青壮年部、本田地区集落協定が連携をとって、米の栽培を通して農業への関心を高め、役割や必要性を知ってもらおうと、行っている行事です。

田植えの方法の説明を受けたあと、児童たちは８アールの田に入って「もち米」の苗を植えました。はじめは足をとられないよう慎重に植えていましたが、慣れてくるにしたがって友達同士で泥もつれになりながら、はしゃぐ場面も見受けられました。今後、子どもたちは、稲の成長を観察しながら、秋には喜びの収穫を体験する予定です。

▲一列で元気に田植え

犠牲者のめい福を祈り 繁藤慰霊祭

▶祭壇に手を合わす参列者

61人の尊い命を一瞬で奪った繁藤災害から37年を迎え、７月５日に「繁藤山崩れ殉職・殉難者追悼慰霊祭」が、土佐山田町角茂谷の哀悼の広場で執り行われました。

慰霊祭に先立ち、繁藤小中学校の児童生徒らが自分たちで折った千羽鶴を捧げ、黙とうを行いました。

慰霊祭には、遺族や消防、地元関係者ら約150人が参列し、犠牲者のめい福を祈りました。遺族会長で祭主の西岡統一さんは参列者を前に、「惨事はいまだ脳裏に焼きついて忘れることができない。この災害で得た教訓を風化させることなく、これからも伝えていきたい」とあいさつしました。

犯罪や非行のない明るい社会をめざして

７月の「第58回社会を明るくする運動強調月間」にあわせて、７月１日に土佐山田町の八王子宮境内で同運動実施委員会主催による決起集会が開かれ、市内の各種団体や企業などから約１７０人が参加しました。

同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会終了後には、県警音楽隊を先頭にパレードや、広報車の巡回などが行われ、運動への理解を呼びかけました。

▲約170人が参加した決起集会

物部川を通して環境保全を学ぶ
―市長らが工科大の教壇に―

7月9日に行われた高知工科大学の地域共生概論（渡邊法美教授）第13講に物部川流域の3市（香美市、香南市、南国市）から講師が派遣されました。この講義は物部川流域の関係者を講師として招き、自然環境の保全が地域共生の鍵を握るということを、頭だけで理解するのではなく、肌で感じてもらうことを目的とした講義です。講義には、南国市企画課、香南市下水道課、香美市水道課、香美市長が順に講師として教壇に立ちました。講義の中では、流域3市で構成する「物部川流域ふるさと交流推進協議会」の設置の経緯、協議会の事業内容の説明、下水道事業の概要、水の循環、水の大切さについて講義されました。

7月16日の第14講では香美市長をはじめとする流域関係者6人を迎えてパネルディスカッションが行われました。学生に行った「食べてみたい、作ってみたい料理のアンケート調査」では、シカ肉料理や大葉を使ったデザートなど多くのメニューが寄せられました。パネリストからは、「高知だからこんなに多くのメニューが生まれる。地元食材に目を向けてくれて嬉しい。美味しい食材を作るためには水が大切。物部川のアユを食卓に」などの意見が出され、学生は興味深そうに聞いていました。

▲パネリストの意見を聞いて学習

スポーツニュース

◆第24回　全国小学生陸上競技交流大会
高知県選考会
（5月22日・県立春野総合運動公園陸上競技場）

香美市からもスポーツ少年団香北陸上クラブが参加しました。男子5年生100メートル走で岡本茂樹くんが、15秒6のタイムで優勝し、8月29・30日に東京国立競技場で開催される「第24回全国小学生陸上競技交流会」への出場が決定しました。

▶岡本茂樹くん

市のスポーツに顕著な功績
2氏に表彰状を贈呈

▲写真左が原田さん、右が小松さん

香美市スポーツ少年団に顕著な功績のあった個人に贈られる功労賞に、長年、スポーツ少年団の代表者として、スポーツ少年団活動の充実を目指すとともに青少年の健全育成に尽力され、また元土佐山田町スポーツ少年団連絡協議会会長を務められた原田照さんと、土佐山田町体育会なぎなた部および土佐山田なぎなた会で、長年にわたり理事として指導者を助け世話役を務められた小松順子さんが選ばれ、6月13日、平成20年度香美市スポーツ少年団連絡協議会総会で、表彰状が贈られました。